

ヨシナカ新聞

（株）北陸ヨシナカ富山工場

JR高岡駅から北陸本線で金沢駅に向かつて二つ目の福岡駅の近くに富山工場があります。

富山工場では「メーターのコイル状の材料（特殊帯鋼）」を使います。スリット、熱処理、圧延、焼入れ、プレス、研磨等の工程ラインから磨帯鋼、焼入鋼帯、ゼンマイ、バネ等の二次加工製品やフラットヘルド、ドロップパー等の繊維機械付属品の3次製品を製造しています。

『磨帯鋼（みがきおびこう）』はスリット、熱処理、圧延の工程を経て製造します。お客様で絞りや曲げ、焼入等の3次加工をされる為の材料です。

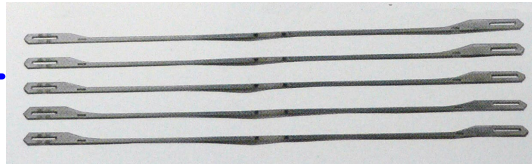
磨帯鋼として造られた材料に焼入工程を施した材料が『焼入鋼帯（やきいれこうたい）』（コイル）

ル）です。この焼入鋼帯もお客様で3次加工が施され、巻尺や刃物等になります。またこの生産ラインでゼンマイやバネも製造しています。

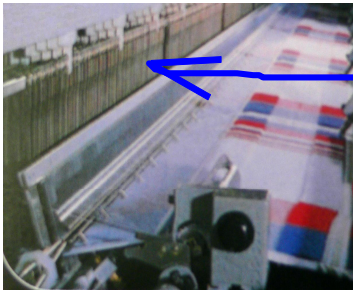
衣、食、住の《衣》に絶対欠かせない繊維機械（織機）。その付属品として使われている『フラットヘルド』と『ドロップパー』。国内で唯一素材から製品まで一貫して生産しています。フラットヘルドもドロップパーも、『磨帯鋼』

↓『焼入鋼帯』の工程を経た材料にプレスや研磨、洗浄、検査の工程を施して製造します。フラットヘルドはステンレスのみです。ドロップパーはステンレス以外の鋼種（主にSK材）も取り扱っており、それにはメッキ工程を施しています。

5月号
発行所
（株）北陸ヨシナカ
東京営業所
TEL: 03-3555-0796
FAX: 03-3553-8444



フラットヘルド（繊維機械付属品）



矢印のところに使われています

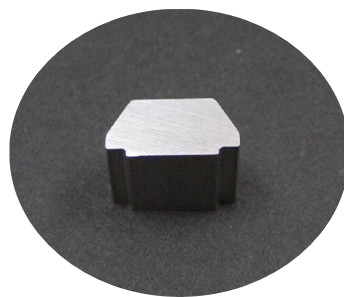
富山工場で使用している材料は主にSK5を使用しています。ステンレスは焼入可能なSUS420J2のみです。

「SUS」は何の略字？

ステンレスの鋼種の頭に付いている「SUS」は何の略でしょうか。わかっているようで結構忘れてる（知らない方もおられるみたいで）こともあるのであえて書きました。『STEEL USE STAINLESS』の頭文字を取ってSUSとしています。知っていた方はどうかご容赦を。

ステンレス異形線

左の写真の異形材はアルミの枠にはめ込んで上のところからタツプ（ネジ）を切って取り付けるナット材として使われます。穴を開けるので材料はS（サルファ）を多く添加したSUS303系を使用します。最近加工割れを防ぐ為に銅（CU）を添加した材料が多く使われています。



ステンレス豆知識

種類と耐食性

ステンレスには大きく分けて3種類あります。

- ①マルテンサイト系
13%クロム。代表鋼種はSUS410
- ②フェライト系
18%クロム。代表鋼種はSUS430
- ③オーステナイト系
18%クロム 8%ニッケル。代表鋼種はSUS304

前号でステンレスは

クロムが酸化して被膜を形成すると書きましたが、それでいうと①より②や③の方がクロムの量が多いので耐食性（錆びにくさ）が良いという事になります。そしてさらにニッケルを加えるとクロムの酸化被膜をより強固にする役目を果たしてくれるので②より③の方が耐食性が良くなります。①→②→③の順に耐食性が良くなります。



藤の花とサインポール
八丁堀の東京営業所の近くにある理髪店の藤の花が素敵だったので撮影しました。『藤』の花の語源は花が風に散る姿の「風散（ふち）」に由来するとも「吹き散る」という意味に由来するともいわれ、漢字の藤があてられたそうです。そして藤の花に囲まれてるように存在する赤青白のサインポール。レトロな存在感が妙に気に入ってしまいました。サインポールは赤は動脈、青は静脈、白は包帯を意味しているんだとか。ヨーロッパでは昔は床屋さんがお医者さんを兼ねていたため、病気になる床屋さんで悪い血を抜いて貰っていたんだそうです。いまは床屋さんに血を抜いてもらうようなことはありませんが、そのころの名残があつた看板になっているのだそうです。ちなみにこのサインポールが日本に最初にお目見えしたのは明治四年のことだそうです。